

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

石川県 七尾市

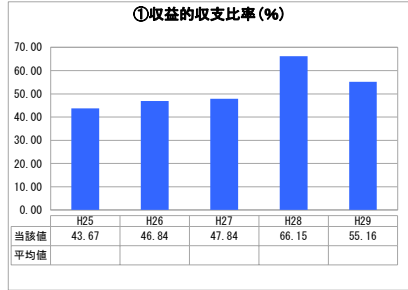
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
34.10	該当数値なし	0.15	100.00	3,348

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
53,927	318.29	169.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
79	0.14	564.29

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



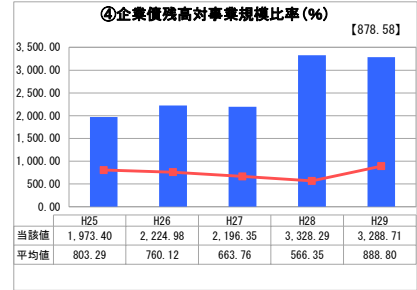
「単年度の収支」



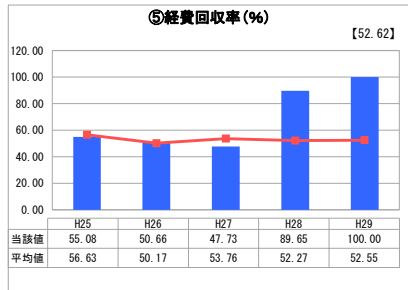
「累積欠損」



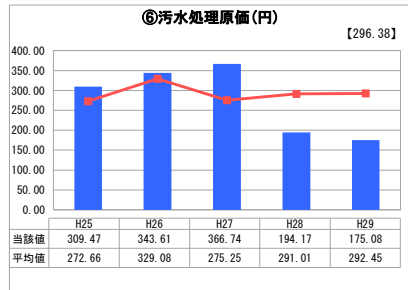
「支払能力」



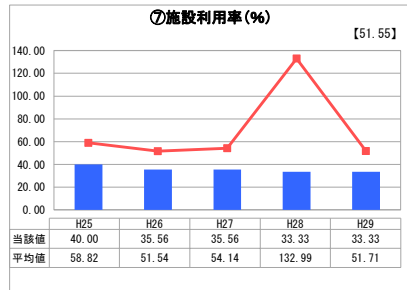
「債務残高」



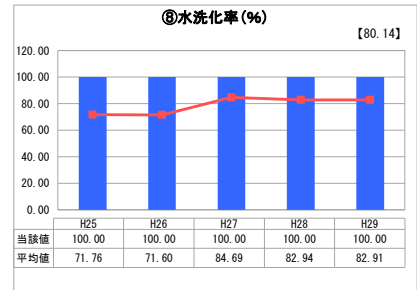
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

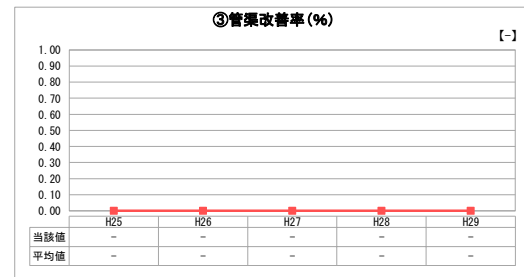
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度において分流式下水道等に要する経費の見直しを行ったことにより、収益的収入が増加し、①収益的収支比率の数値が改善されている。  
 ④企業債残高対事業規模比率は、使用料収入に対し整備事業に要した地方債の残高が大きいため類似団体と比較すると高い状況にある。  
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価は、①収益的収支比率同様、経費の内訳の見直し以降、数値が改善されている。  
 ⑧水洗化率は、100%で推移している。

### 2. 老朽化の状況について

浄化槽躯体には、更新が必要な老朽化は見られないが、フローヤや排水ポンプ等の機器設備類で部品の取替えなどの修繕が増加傾向にある。

### 全体総括

人口減少により有収水量の減少が進む中、今後、老朽化により浄化槽躯体や機器設備類の修繕や更新が増加していくことが予想される。また、整備時期が同時期に集中していることから一時期にこの更新が集中することが予想される。  
 事業規模が小さく使用料収入等の収益の増加は見込めないが、他の個別処理事業と一体的に管理委託を行うことによる維持管理費の縮減や更新費用の平準化により経営の健全化に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。